

小学校 音楽科の指導におけるICTの活用

県教育庁義務教育課

①表現の学習における活用場面

- デジタル・オーディオ・レコーダー、デジタル・ビデオカメラ等を利用した歌や演奏の記録
- 記録した自分たちの歌や演奏を聴いたり見たりして確認し、音楽表現を工夫していく。



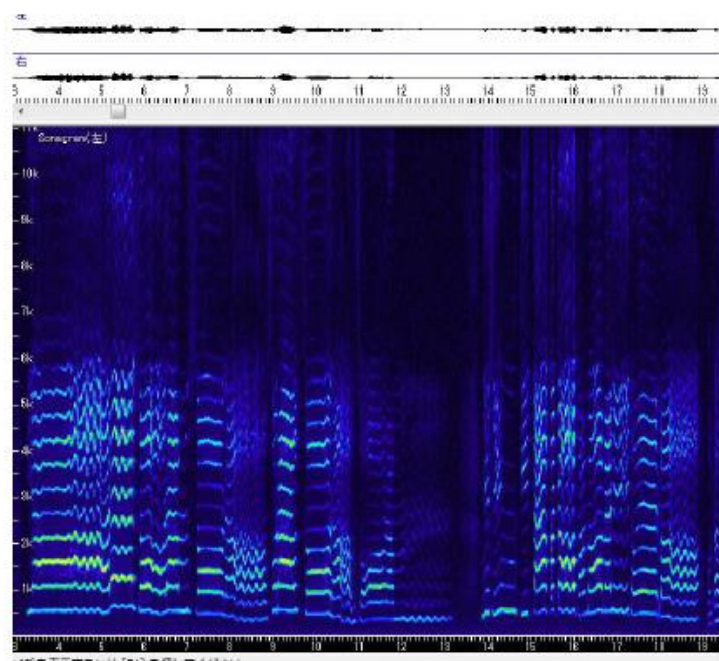
一人一台になったら…

ワークシートとともに実際の演奏などを記録に残し、音や動画を取り込んだ学習のポートフォリオとして活用することが考えられる。

①表現の学習における活用場面

- ソフトウェア（サウンドスペクトログラム）による音の可視化

- お手本の歌い方（範唱）と自分たちの歌い方を音声と画面で比較し、音楽表現を工夫していく。



①表現の学習における活用場面

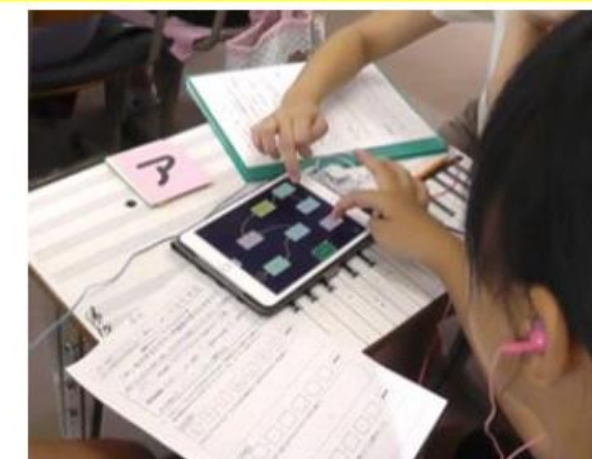
- リズムカードを並び替え、反復や変化などを工夫して音楽をつくる活動
- P Cで音を聴いて確かめながら試行錯誤していく。P Cで再生した音楽を手本にしてリズムを手で打つ。



- ループするリズムをどう組み合わせるかを考える活動
- つくったリズムループを、P Cの画面と音で確かめながら、つなげ方の特徴やその面白さを考える。

②鑑賞の学習における活用場面

- グループごとに、分割された鑑賞曲の音源を聴きながら、正しい演奏の順番を考え、音源を並び替える。
- 作曲家が工夫した音楽のよさを感じ取る。



一人一台になったら…

自分が気になったところを何度でも繰り返し聴くことで、より深く音楽のよさを感じ取るにつながらる。

ここに掲載した内容は、文部科学省 HP「各教科の指導における ICT の効果的な活用に関する参考資料」から抜粋したものです。詳しくは、下記文部科学省 HP をご覧ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00915.html